

■米国：2017年9月までの連邦補正予算案が成立

共和・民主両党は2017年4月30日、2017年9月30日までの政府歳出を決める補正予算案に合意、5月5日に成立した。これにより、財源不足による政府機関の一時閉鎖は回避された。今回成立した補正予算案は、2017会計年度の残りの期間の歳出を定めるもので、3月16日にトランプ大統領が示した2018会計年度の予算要求概要(blueprint)とは異なる。しかしながら、トランプ大統領が要求してきた、メキシコ国境における柵の建設、気候変動対策費用の削減、研究開発予算の削減、などは今回の補正予算案にはほとんど盛り込まれていない。トランプ政権の共和党内での支持基盤の弱さが露呈した格好で、今後審議が進む2018年度予算案にトランプ政権の政策がどの程度盛り込まれるのか、注目される。なお、トランプ大統領のblueprintで示されていたユッカマウンテン最終処分場への予算措置についても、今回の補正予算案では明確には言及されていない。